



石岡市議会議員

櫻井 茂

活動報告

平成 29 年 (2017 年)
5 月 17 日 第 8 号

■発行/櫻井しげる後援会 ■住所/315-0013 茨城県石岡市府中3-11-28
■電話/0299-22-3881 ■FAX/0299-22-3881
■WEB <http://www.sakurai.click/> ■E-Mail sakurai@sakurai.click
■Facebook <https://www.facebook.com/shige.sakurai.3>

日頃より、櫻井茂の議員活動に深いご理解とご支援を賜り、心から御礼を申し上げます。

さて、大型連休は天候に恵まれ夏日を記録するほどの温かさとなりました。4月初旬の桜の開花から筑波山系の山々が萌黄色に染まり、水田に水が張られる時期は里山の美しさが際立つ時期でもあり、心なしか議員活動も勢いがついています。議員3年目に入り、地域の課題把握と解決に向け、具体的に取り組んでいるところです。9月の茨城県知事選挙、10月の石岡市長選挙が控える中、新米議員の周囲も賑やかになりつつあります。今後も、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

一・震災被災地を訪ねて

(1) 復興大臣の不適切発言

今村雅弘復興大臣は、福島原発事故に関する記者会見での暴言、さらには「生活インフラの復旧はほぼ終了し、住まいの再建も来年春に9割以上が完成の見通し。復興は着実に進展している」「東日本大震災が東北で良かった」等の不適切発言により更迭・辞任しましたが実態はどうなのか。たまたま3月下旬に宮城県気仙沼市及び南三陸町を訪問してまいりましたので現状をご報告いたします。

(2) 気仙沼市の復興状況

山あいから海に注ぐ河川流域に発展してきた地域は、津波により壊滅的な被害を受けました。写真①はかつてJR南気仙沼駅があった周辺地域の区画整理風景です。区画整理後に写真②のような災害公営住宅を、市内28地区に2133戸建設する工事が急ピッチで行われています。

現在、区画整理に加え、海抜の低い地域の土盛りや堤防のかさ上げ工事が、そこかしこで行われております。そのため全国各地から200名を超える職員が、復興支援のため気仙沼市に派遣されており、本年度は石岡市も職員1名を派遣しています。

写真①



写真②



(3) 南三陸町の復興状況

写真③中央の赤い鉄骨は、「津波が来るので避難してください」と呼びかけ続けた24歳の女子職員が殉職した南三陸町の防災庁舎(高さ12m)です。周辺はかつて民家や商店が密集していましたが、今は10mの土盛り工事が盛んに行われています。津波で店を失った店主の方々は、今年3月3日、防災庁舎の目の前に、写真④の「さんさん商店街」をオープンしました。厳しい環境の中、安くておいしい海の幸・山の幸、そして人情は震災前と変わらないように感じました。

写真③



写真④



(4) 復興は道半ば さらなる支援を

写真①・③の土盛り・かさ上げは、津波が襲った証です。実際に、建物が建ち、そこに人が住み、活動する環境が整って初めて復興の基礎ができたと考えらるべきで、復興は道半ば、まだまだ先と感じました。被災地の現状と被災者の心情を全く理解していかなかった復興大臣には驚くばかりです。私たちに、直接的な支援は難しくても、①被災地への関心を失わないこと。②地域経済への貢献(旅行や地元産品の購買等)を心がけることが、復興へのバックアップになるものと思います。

一、第1回定例会で行った一般質問

(1) スズメバチの駆除について

スズメバチは刺されれば死に至るケースもある恐ろしい昆虫です。近年、地球温暖化や住宅街に空き家が増え、私たちの生活圏内に営巣するケースが増えています。人の生命に影響を及ぼすような営巣を確認した場合、その駆除に向けた支援策について伺いをいたします。

(1) スズメバチ駆除の対応状況を伺います。

生活環境部長答弁要旨 市に相談の連絡が有った場合、市内にある駆除業者の紹介を行っている。

県内では市担当者が駆除しているケースもあるが、石岡市では駆除費用の半額、5千円を上限に補助をおこなっており、昨年は130件の補助申請があった。営巣した方の処理が基本であるが、学校周辺や通学路は市で駆除対応している。

(2) 駆除の支援強化について伺います。学校周辺や通学路は市が対応することですが、営巣している地権者が危険性を感じない場合も考えられる。市の対応基準は作成していますか。

生活環境部長答弁要旨 基準は作成していないが、先進事例を参考に組み込んでいきたい。

再質問 ハチの活動が活発になる6月までに、市のホームページに駆除の流れをわかりやすく掲載していただきたい。

生活環境部長答弁要旨 ホームページに掲載できるように努めていきたい。

(2) 公衆無線LANの環境整備について

世界共通標準規格となった無線LAN IIワイファイとも言い、行政としても、観光、防災、産業など幅広い利活用が期待されることです。

国はその整備を積極的に進める方針を示しているところでもあり、石岡市として今後どのように環境整備を進めていくのか伺います。

(1) 石岡市内における公衆無線LANの整備状況について伺います。

市長公室長答弁要旨 まちかど情報センター及びフラワーパークで利用可能。県内では35市町村で公衆無線LANサービスを開始している。これらを受けて石岡市は、情報戦略推進委員会で整備案の取りまとめを行っているところである。

(2) 公衆無線LANの可能性をどのようにとらえているのか伺います。

総務部長答弁要旨 東日本大震災時には、携帯電話等がつながりにくく、インターネット環境は比較的有効であった。避難所内の被災者を支援するうえで、公衆無線LANは大変有効と考えている。

庁舎建設担当部長答弁要旨 新庁舎建設工事において、公衆無線LANの整備を予定している。

経済部長答弁要旨 観光分野では、必須のサービスと認識しており、整備を急ぐ必要がある。

(3) 市内公共施設等への整備をどのように進めていくのか伺います。

市長公室長答弁要旨 茨城国体や東京オリンピックの開催を見据え、市内観光・保養施設5か所、市役所本庁舎及び支所、図書館、運動施設等9か所の早期整備に向けて進めている。

再質問 計画案はできており、あとは予算化の判断次第との印象を受けました。市長はスマートフォンあるいはタブレット端末を利用しており、公衆無線LANの恩恵をより多く受けていると思います。県内他市から見た石岡市の現状も踏まえ、公衆無線LAN整備についての見解を伺います。

市長答弁 市民生活に、今や欠かせないものだと思います。無線LANの特徴である、高速・安定・大容量の3つのポイントは災害時には特に頼れる存在である。総務省出身の副市長がいるので、様々な補助事業を探りながら取り組んでいく。

(3) 農業委員会法改正に伴う取り組みについて

平成28年4月1日、改正農業委員会法が施行されました。石岡市の場合、現農業委員の任期満了後(来年7月)に、新たな農業委員会として、組織体制の改革が求められ、本市農業がどのように変化することを目標にするのか伺います。

(1) 法改正の内容について伺います。

農業委員会局長答弁要旨 改正目的は、担い手への集積・集約化。遊休農地の発生防止・解消・新規農業への参入促進を推進すること。大きな改正点は3点。農業委員会業務として農地等の利用の最適化推進が規定され、指針を定めることになる。農業委員の選出方法は、市長が市議会の同意を得て任命することになる。農業委員とは別に、農地利用最適化推進委員を新たに委嘱することになる。

再質問 農水省の説明では、農業委員の数は最適化推進委員を設置する場合には現行定数の半分とされていますが、農業委員定数について、現在の農業委員会で検討しているのか伺います。

局長答弁要旨 農業委員は、国から示されている上限19名。推進委員は農業委員と見合わせた数でいいのかなあと私は思っています。

再質問 局長から数字が出されましたが、定数の検討をしているのか聞いています。現在の農業委員数は24名ですが、定数の検討はしていますか。

局長答弁要旨 検討していません。

再質問 農業関係団体等からの農業委員推薦制度は、一定の基準・条件があると思います。この推薦ですが、任意団体等で規約等の定めのない団体が推薦団体になれるのか伺います。

局長答弁要旨 そういった規制はない。

提言 規約の定めがないと推薦団体になれません。農業委員会はよく確認をして、遺漏が無いようにしてください。

(2) 新たな農業委員会に向けた事務局の取り組み状況について伺います。

局長答弁要旨 現農業委員の任期は、平成30年7月19日で任期満了。条例改正や農地等の利用最適化の推進に関する目標設定を明確にし、指針とする必要がある。そのため改正法が適用となっている農業委員会の新たな取り組みを調査研究するなど情報収集を行っている段階である。

再質問 法改正の根幹である農業委員及び推進委員の定数、報酬の積算根拠、関係条例の制定等課題が多数あり、いつごろ意思決定する予定かスケジュールは決めていますか。

局長答弁要旨 農業委員の任期が約1年あり、29年度からスケジュールを設けたい。

再質問 他市のスケジュールを石岡市に当てはめると、現段階で定数及び報酬の検討がされている。6月にはその意思決定。7月から8月にかけて委員の選考方法の検討と手続きに関する要綱の整備。9月には定数条例のパブリックコメント。11月は条例改正案の決定と議会への議案上程。可決後に農業委員の推薦公募。平成30年早々には農業委員選任議案の取りまとめとなる。これらについて農業委員に説明し、農地の集積集約化を農政課と情報交換していますか。

局長答弁要旨 していません。

再質問 スケジュール的に非常に厳しい状況です。しっかりやっていただかないとあとに残される職員が困ります。3番目の質問「今後石岡市の農地がどう変わるのか」を質問できません。正直、全然やっていないので聞く意味がない。事務局の体制強化も課題となるが市長の考えを伺います。

市長答弁 農地の集約化が1つの鍵であり、農業委員会と連携して基幹産業である農業を支えていく体制を作っていきたい。

三. 提出された議案に対する質疑

(1) 議案第25号 石岡市特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例を制定することについて

総務省が進める地域力の創造、地方の再生に向けた事業の一つである地域おこし協力隊の設置に当たり活動内容や雇用条件を伺います。

(1) 目的と活動内容について伺います。

市長公室長答弁要旨 東京圏をはじめとする都市住民など、地域外の人材を地域社会の新たな担い手として受け入れ、本市の豊かな地域資源、地域産業を活用した田舎体験やふれあい交流などの地域協力活動に従事しながら、本市への定住・定着を目的としている。活動内容は、中心市街地活性化、観光交流の推進、農林業の推進、移住定住の推進の4分野での活動を予定している。

(2) 隊員の募集活動について伺います。

市長公室長答弁要旨 1月に東京ビックサイトで行われた「移住・交流&地域おこしフェア」への単独ブースでの参加はできなかったが、茨城県のブースに共同出展という形で参加し、実際に応募希望者との相談業務を行っている。

(3) 非常勤の特別職として月額給与16万円プラス交通費、住宅は市の借り上げで提供とのことですが、勤務形態や活動備品等について伺います。

市長公室長答弁要旨 週29時間以内の勤務で夜間・土日勤務も発生する見込み。活動備品は予算の範囲内で対応。運転免許所有が採用条件となっており、公用車の使用を予定している。

提言 首都圏から石岡市に移住してくるので、心のケアもお願いしたい。2名が内定、2名が選考中とのことであるが、石岡再生プロジェクト、地域の魅力アップにおける目玉事業の一つとして効果が発揮されることを期待しています。

四. 予算特別委員会

平成29年度予算案は、全議員で構成する予算特別委員会に審査付託され、4日間にわたり審査いたしました。最終日は総括審査として市長出席のもと政策的な質疑を行いました。

(1) 総括審査における質疑

(1) 柏原工業団地に空きがない中で、企業誘致可能性調査を予定しているが、市長の考えを伺う。

市長答弁 立地の可能性は、小規模な場所となるので、中小企業に照準を当て、江東区・葛飾区・墨田区の区長さん方と交流を持っています。

提言 企業誘致に関し固定資産税で2億5千万円程度の効果が出ていると答弁がありました。税収あるいは雇用の確保に向け積極的に取り組んでいただきたい。

(2) 霞台へ搬出する資源ごみで、石岡市は1千万円損していることを昨年6月に質問をしました。新年度予算に反映されていない理由を伺う。

生活環境部長 霞台の構成市として一緒に取り組んでいる小美玉市と協議をしているところである。

再質問 資源ごみを石岡市内の回収業者に直接搬入することについて、小美玉市と歩調を合わせる必要性を感じない。質問してから既に10か月経過している。いつ頃結論が出るのか伺います。

生活環境部長 ご提言があったように市の収入という大きな部分があるので早急に結論を出します。

再質問 八郷地区の紙(資源ごみ)は、既に業者に直接搬入し利益を上げています。議員から提言される前に職員が整理する問題。すぐにやるのが行政改革の流れと思うが、市長の見解を伺います。

市長答弁 新しい炉(ごみ処理施設)の完成に向けて、ごみの減量化を確立していきたい。

提言 ごみの減量化は各方面から指摘されている。あらゆる方面に気を配っていただきたい。

五. 議会を傍聴してみませんか

平成29年第2回定例会が6月6日に開会いたします。会議の開始時間は全て午前10時です。

石岡市長選挙の投開票が10月22日に決定したことを受け、定例会一般質問等で今泉文彦市長の再選に向けた意思表示がされるのか注目されます。

また、議会閉会日には、常任委員会委員の任期を迎えることから、委員会構成が変わる予定となっております。さらに、これまでの例では、今期定例会では、正副議長選挙も行われるものと思えます。前回の正副議長選挙から立候補制度を取り入れ、立候補者の所信表明の機会を設けました。市議会への関心をこれまで以上に高めていただき、是非とも傍聴においでください。

傍聴席では飲食・携帯電話の使用、私語の禁止などの約束があります。議会のテレビ中継は、本会議（開会・一般質問・議案質疑・閉会）のみ放映しており、中継を見ることのできるテレビは、市役所本館ロビー、まちかど情報センター、八郷総合支所1階ロビーにあります。着色してある会議は私が出席する会議となります。

平成29年 第2回定例会日程		
月 日	曜	会議内容
6月6日	火	開会
7日～11日		休会
6月12日	月	一般質問
6月13日	火	一般質問
6月14日	水	一般質問
6月15日	木	議案質疑
6月16日	金	教育福祉環境委員会
17日・18日		休会
6月19日	月	総務委員会
6月20日	火	経済建設消防委員会
6月21日	水	議会改革特別委員会
6月22日	木	議会運営委員会
6月23日	金	採決・閉会

六. 菊地健太郎氏が副知事に就任

総務省から茨城県に派遣されている菊地健太郎氏（44歳）が、3月の県議会において副知事に承認されました。

菊地氏は石岡市柿岡出身。水戸第一高校・東京大学法学部を卒業後、自治省（現総務省）に入庁。橋下徹大阪府知事の財政課長として、大阪府の財政再建に辣腕をふるい、その後、世耕弘成官房副長官（現経済産業相）の秘書官などを歴任されました。

4月中旬、今泉文彦石岡市長を発起人として、石岡市・土浦市・かすみがうら市・小美玉市・茨城町の首長及び議員有志による副知事就任祝賀会がマリアージュ吉野で開催されました。

その席上、最後の八郷町長であり合併後最初の助役（副市長）に就任された氏の父上である菊地武雄氏の秘書役を、かつて市秘書課職員として私が務めていたことをお話しすると「それは、それは、ご迷惑をおかけしました」と気さくな笑顔で話しかけてくれました。

同郷として副知事就任を誇りに感じるとともに、活躍を大いに期待したいと思います。



七. 今泉石岡市長の市政報告会開催

今泉市長は「ふるさと再生」を掲げ、市長就任から3年7か月。石岡市政をこれまでどのように担ってきたのか、そして今後の展望を語ります。

開催日時 平成29年5月21日 午後1時30分
場 所 石岡市民会館

橋本昌良知事も激励に訪れる予定です。また、「笑点」の座布団運びでおなじみの山田隆夫さんのショート漫談等も予定されています。

県との連携強化も大いに期待できるようにになりました。今泉市長の足跡と新たな歩みを一緒に確認しましょう。皆様お誘いあわせの上、お出かけください。なお、お車の方は、イベント広場駐車場をお勧めいたします。

八. 議会報告会日程が決定

平成29年度議会報告会の日程が決定しました。

8月7日（月曜） 八郷総合支所1F会議室

8月8日（火曜） 石岡市民会館エントランスホール

いずれも午後6時30分受付開始、午後7時開会です。内容は、各常任委員会の活動状況報告及び意見交換会を予定しております。

前回の開催では、参加者が少なかった点を考慮し、今回は夜間開催といたしました。

九. 議員活動報告について

私の活動報告は、議会・議員の活動や市政の様子を中心に記事をまとめています。紙面の都合上限られた情報として拙い文章で恐縮ですが、ご一読いただければ幸いです。

ご意見・ご要望、そして配布の希望あるいは停止等、遠慮なくご連絡願います。お手紙、電話・FAX・メールを問いません。